



# トランプ氏変わる対日観

## 「宝のように大事な同盟国」

5日に初来日したトランプ大統領は、到着してすぐに演説し、日本との関係を「宝」とまで持ち上げた。日米同盟の重要性を何度も強調するなど、在日米軍撤退論まではめかしたかつての発言とは様変わり。

トランプ氏の対日観の変遷を振り返ると――。

### ▼1面参照

「日本は宝のように大事なパートナーであり、不可欠な米国の同盟国だ」

大統領専用機から降り立ったトランプ氏は、米軍横田基地で米兵や自衛隊員を前にした演説で力を込めた。「日本国民に深い敬意を持って」とし、横田基地が「日本一であり、世界一」と語った。

トランプ氏が米軍基地で演説し、米兵をたたえるの

1987年9月、大統領選への出馬を検討していたトランプ氏がニューヨーク

田基地で米兵や自衛隊員を前にした演説で力を込めた。「日本国民に深い敬意を持って」とし、横田基地が「日本一であり、世界一」と語った。

度も繰り返した。しかし、振り返るとトランプ氏は大統領選に勝利するまで、日本に対して厳しい発言が目立った。

1987年 「日本などに米国は何十年も利用されている。日本などに(在日米軍の駐留経費を)払わせ、米国の巨額の赤字を終わらせるときだ」(ニューヨーク・タイムズ紙に出した全面広告)

93年 「日本が自由貿易に応じなければ、30日以内に車などの米国での販売を禁止する」(記者団に発言。ニューヨーク・タイムズが報道)

2015年4月 「米国のビジネスへの攻撃だ。日本の為替操作を止められない」(環太平洋経済連携協定(TPP)を批判するツイッターでの書き込み)

7月 「中国やメキシコ、日本に(経済で)殺されかかっている」(米テレビのインタビュー)

2016年3月 「(北朝鮮による)核の脅威があるなら(日本の核保有は)米国にとっても悪いことだとは限らない」(ニューヨーク・タイムズ紙のインタビュー)

6月 「日本は何百万台の車を(米国に)送ってきて、我々は何をしている?彼らは我々の仕事、カネを奪っている」(大統領選の演説)

8月 「我々が日本を守っていると知っているか?」「彼らは(米軍の駐留経費を)なぜ100%払わないのだ」(大統領選の集会)

11月8日 米大統領選

17日 世界の首脳に先駆けニューヨークのトランプタワーを訪れた安倍晋三首相と会談

2017年1月20日 大統領就任

2月10～11日 訪米した安倍首相と会談。2日間で一緒に4回食事、ゴルフを27ホールプレー

11月5日 大統領就任後、初の訪日。「日本は宝のように大事なパートナー」(米軍横田基地で演説)

過激発言を封印↓

トランプ